

令和4年度森林環境税活用事業の予算案

資料2

大区分	小区分	No.	継続 新規 拡充	事業名	担当課	R3予算額 (千円)	R4予算額 (千円)	本年度 との比較	事業内容	新規事業及び増減の主な理由
森林環境 の保全を 進める 事業	森林の 整備	1	継続	公益林保全整備事業	木材増産 推進課	23,000	20,000	↘	荒廃森林の発生を予防し森林の公益的機能を効果的に発揮させるため、水源かん養機能等の公益的機能が 高い人工林(11年生以上)の保育間伐を支援	事業要望量の減
		2	継続	みどりの環境整備支 援事業	木材増産 推進課	29,106	17,880	↘	荒廃森林の発生を予防し森林の公益的機能を効果的に 発揮させるため、CO2吸収効果が高い人工林(11～ 45年生)の保育間伐を支援	事業要望量の減
		3	継続	造林事業	木材増産 推進課	25,750	24,720	↘	森林所有者の自助努力では適切な森林整備が期待で きない森林において、森林所有者に代わって森林組合 等が実施する人工林(11～60年生)の保育間伐を支援	事業要望量の減
		4	継続	森林・山村多面的機能 発揮対策支援事業	林業環境 政策課	10,464	7,192	↘	適正な森林管理を促進するため、地域住民等が協力を して実施する里山林の保全管理や森林資源を利用する 取り組みを支援	活用団体数の減少
		小計					88,320 (34.1%)	69,792 (30.1%)		
	シカ 被害 対策	5-1	継続	指定管理鳥獣捕獲等 事業委託料	鳥獣対策課	6,017	6,033	→	高標高域の国有林内鳥獣保護区でわな猟によるシカ 捕獲を実施	人件費単価の増加に伴う事務費の増加
				シカ個体数調査委託 料	鳥獣対策課	2,142	0	↓	科学的根拠に基づく計画的で順応的なシカの管理を行 うため、最新のシカの個体数を推定	令和3年度にベイズ推定により、令和2年度末現在の県内のシカの推定生息数及 び推定生息数の将来予測を実施できたため、令和4年度及び令和5年度のシカ個 体数調査は実施せず、国の目標に即し、令和6年度に令和5年度末現在の生息数 を推定予定。
	シカ 被害 対策	5-2	新規	第二種特定鳥獣捕獲 推進事業費補助金	鳥獣対策課	0	10,375	↑	市町村が特定鳥獣の捕獲に取り組む狩猟者(新規狩 猟者を含む)に配布(貸与)するための「くくりわな」の購 入を支援	高知県が定める特定鳥獣(ニホンジカ・イノシシ)による農林業被害や自然植生被害 が依然として深刻であるため、市町村が特定鳥獣の捕獲に取り組む狩猟者(新規狩 猟者を含む)に配布(貸与)するための「くくりわな」の購入に対して定額補助し、捕獲 推進に取り組む。ただし、送料、梱包料等の「くくりわな」本体以外に係る経費は補 助対象外とする。 なお、森林環境税を活用するのは、シカ捕獲に係るくくりわなとする。
		5-3	継続	森林環境保全対策シ カ捕獲事業委託料	鳥獣対策課	21,000	20,160	↘	狩猟によるシカの捕獲実績が上位である市町村におい てシカによる森林及び自然植生被害を軽減するため、 狩猟期のシカ捕獲に対して捕獲報償金を支出する。	平均捕獲数の減少
		6	継続	希少野生植物食害対 策事業	自然共生課	16,986	12,117	↘	ニホンジカによる希少野生植物の食害被害を防止す るため、現況調査や防護ネットを設置に必要な取組を支 援	石鎚山系保護指針策定事業の終了 石鎚山系における保全すべき重要な植生への食害を未然に防ぐためのモニタリ ングを追加
		小計					46,145 (17.8%)	48,685 (21.0%)		
	大区分 計					134,465 (52.0%)	118,477 (51.1%)			
	県民の みなさん の森林へ の理解と 関わりを 深め 広げる 事業	森林 環境 教育	7	継続	環境学習推進事業	生涯学習課	5,382	5,718	↗	【自然体験型学習事業】 児童生徒の健全育成を目的として、市町村等が学校行 事として実施する小中学校等における2泊3日以上、民 間団体又は市町村等が概ね高校生以下の児童生徒を 対象に実施する1泊2日以上の宿泊を伴う自然体験活 動を支援 【森林活用指導者育成研修】 学校林をはじめとした地域の森林等、豊かな自然環境 を活用し、保・幼の園児、小・中・高の児童生徒を対象 に体験を中心とした森林環境教育を推進することので きる人材を育成
8			継続	高校生森林環境理解 事業	高等学校課	1,219	1,325	↗	高校生に対し森林環境学習を行い、森林環境の大切さ を学び、保全していくことの重要性を理解してもらう取組 みを支援	活用校の増加 事業回数の増加に伴う報償費の増加
9			継続	高校生後継者育成事 業	高等学校課	880	932	↗	林業関係の資格取得を推進することにより、将来の森 林整備の担い手の確保を図る。	可搬式林業機械研修の実施校の増加 事業回数の増加に伴う報償費の増加
10			継続	山の学習支援事業	林業環境 政策課	27,891	24,963	↘	本県の豊かな森林環境に子どもたちが気づき、体験活 動を通じて森林整備の大切さを理解するための森林環 境学習を実践する小中学校の取組を支援	R2に作成したハンドブックを活用した、事業の新規活用校の増加に向けた取組支 援を縮小し、従来の補助事業の附帯事務と一体で実施
小計					35,372 (13.7%)	32,938 (14.2%)				
県民の 主体的 活動の 支援		11	継続	森林環境情報誌作成 等委託料	林業環境 政策課	7,321	7,321	→	幅広い県民を対象に、森林の果たす役割や森林保全 の必要性などを広報	
		12	継続	森林環境学習フェア等 開催委託料	林業環境 政策課	12,641	12,641	→	森林環境学習に関するフェアを開催し、広く県民に森林 環境保全の重要性を理解し、木材利用や森林への関 心を深めていただくための情報発信等を行う。	
				座談会等開催委託料	林業環境 政策課	9,289	0	↓	現在の課税期間がR4年度に終了することに伴い、期間 延長の検討に当たり県民から意見を聞くため、座談会 等を開催	延長の検討に伴う事業であることから、R3年度のみ
		13	継続	こうち山の日県民参加 委託料	林業環境 政策課	2,065	3,191	↗	幅広く県民からの参加を募る森林保全ボランティア活 動の支援や、ボランティア活動の募集等を行う公式HP 「森・ヒト・こうち応援ネット」の保守管理等を行う。	ボランティア活動回数の増加
		14	継続	こうち山の日推進事業	林業環境 政策課	7,882	7,881	→	「こうち山の日(11月11日)」を中心に、県民が主体と なって行う森林整備活動等を支援	
		15	継続	木育指導員活動支援 事業費補助金	林業環境 政策課	2,094	1,932	↘	木育指導員の養成のための取組と活動を支援する。	団体ごとの補助金活用状況を考慮し、減額
		16	継続	運営委員会等開催費	林業環境 政策課	1,523	1,376	→	森林環境保全基金の運営を適正に行うため、基金運営 委員会の開催を行う。	
木材 利用の 促進		17	継続	林業大学校(短期課 程)研修業務等委託料	森づくり 推進課	699	620	→	林業大学校において、林業活動を実践している方の知 識や技術の向上を図る「短期課程」の研修を実施	
	小計					43,514 (16.8%)	34,962 (15.1%)			
大区分 計					124,172 (48.0%)	113,186 (48.9%)				
合計					258,637	231,663				

※小計、合計欄の下段は構成比。

※本年度との比較は、事務費等を除いた事業費の実質的な増減の状況。